

世界銀行グループ・IDA（アイダ：国際開発協会）第19次増資

- ◆ IDA（アイダ）は、低所得国向けに、超長期・低利の借款やグラントを供与。3年ごとの増資で、必要資金を補充。
- ◆ 今回の増資で、IDAは、日本議長下におけるG20の成果を重点政策として位置付け（質高インフラ・国際保健・防災・債務持続可能性）。
- ◆ IDA19の総資金規模は、IDA債発行等の自己資金の積極的活用で、前回は70億ドル増の820億ドルを確保。このうち、ドナー貢献は、中国やサウジなど新興国からの貢献も増加させつつ、前回は13億ドル増の323億ドル。
- ◆ 日本の貢献のうち、前回活用した融資貢献（円借款）は、低金利環境下での貢献価値の縮小や出資貢献充実への強い要請を踏まえ、見送り。今回、日本の貢献は出資貢献（3,525億円：出資国債）に一本化し、シェア10.0%を確保。

(注) 上記の3,525億円に、2005年のG8で決定済みのIDAの重債務貧困国に対する債務救済費用の負担分（480億円）を加えた出資国債総額は4,005億円。

【ドナー貢献・日本の貢献の推移】

